

【学年】 5 年

【教科・単元】 算数「小数のわり算」(全 8 時間)

【実践内容】

○ 単元目標

小数の除法におけるあまりの位取りについて理解する。

○ 実践の概要

ジュースが 2. 5 ℓ あります。
ℓ 入りの水筒に入れていき
ます。
何個の水筒をいっぱいにできま
すか。

児童が好きな数字から解決していった。

5 ℓ ジュースよりも大きいから、水筒がいっぱいにならない。

① 2. 5 ℓ 式 $2. 5 \div 2. 5 = 1$ 1 こ

② 0. 5 ℓ 式 $2. 5 \div 0. 5 = 5$ 5 こ

③ 0. 7 ℓ 式 $2. 5 \div 0. 7 \rightarrow$ わりきれない。
3 この水筒をいっぱいにする。
0. 4 ℓ あまる。

児童は、筆算で解いていた。あまりが
4 ℓ だと、おかしいので小数点をうっ
ていた。

課題：あまりの小数点の場所は、なぜもとのまま？

★ 知的好奇心について

あまりが 4 ℓ だとかかしい、ということから 0. 4 ℓ にしたのだが、ではなぜ元の場所にうつのか、という疑問が生まれた。そこでそのことを全員の課題にし、追究していった。「なぜ」という疑問を解決することが、知的好奇心を満たすことになるのではないかと考えた。考えを比較・検討したりすることにより、知的好奇心を満たすことができるのではないかと考えた。

【児童の様子・反省】

個人追究の様子

① 言葉で説明... ・ もし 4 ℓ だと、水筒にまだ入る。

・ もとの 2. 5 ℓ よりも、あまりが大きくなるのは変。

・ 0. 7 と 2. 5 を 10 倍して計算した。だから、あまりは $\div 10$ をする。

② 検算する。

③ 図を書く。

全体交流

6 名の考えを印刷して、配布した。しかし図を使った分かりやすい説明がなかったため、教師側で説明をした。おかしい、ということに気がついても、そのことを説明するのは難しかったようだ。自分の考えを、相手にきちんと伝えるように説明をすることについて、書く練習を積み重ねていかなければいけないと思った。

また、「なぜ」を解決する手段は、既習事項にあるのだから、学習の積み重ねも大事であった。